



一学期を終えて・来年度に向けて

今年の4月から新校舎で保育所、小学校、中学校が一緒に学校生活を始めました。小学校と中学校においては小中一貫教育の制度の中で、6年生の授業を中学校のように、学級担任と教科担任(中学校教師)で行うという大きな改革を行いました。また、3年生以上の実技教科においても、中学校の教師が担当またはTTで授業に入る体制にしました。小中が一つになり、中学を卒業するまでの子どもの成長をみんなで見守りながら育てていくことができるこの環境は、子どもたちにとってもまた小中の教師にとっても素晴らしいものだと思います。

1学期を振り返ってみると、合同校舎でしか実現できなかった子どもたちのつながりが、多くの場面で見られました。小中合同の新入生歓迎会もその一つで、全校の児童生徒が新入生の入学をお祝いし、披露された歓迎のパフォーマンスは大変微笑ましく、心のこもった温かさを感じました。また、毎日の生活の中でも上級生は下級生に対して自然と優しく接しながらも、やるべき事はきちんとやりきる姿で下級生への手本となってくれています。そんな上級生にあこがれをもち、目標にしている下級生の姿もあります。昼休みに児童生徒が一緒になって遊ぶ姿、怪我した小学生の手を引いて保健室に連れて行く中学生の姿に小中の枠を超えた子どもたちの優しさ、思いやりの芽生え、絆の深まりを感じています。教科学習の面でも中学校の教師が小学生を教えることで、学ぶ児童にとっても教える教師にとっても、お互いの学びが深まっているように思います。来年度からは小中合わせた9年間が1つの学校になる「義務教育学校」への移行を予定しています。この1学期の間に感じた様々な教育効果をさらに大きく伸ばしていけるように、小中の学習カリキュラムを整理しながら最適化された学びの実現を目指したいと思っています。



新入生歓迎会

健康で安全で充実した夏休みに！

本日で1学期が終了しました。保護者のみなさまのご協力のおかげで、全児童生徒とも健康に学校生活を送ることができ、行事についても天候等による中止を除きほぼ予定通り行うことができました。ありがとうございました。コロナウイルス感染症はまだ収束には至っていないため、今後も注意を続けていく必要はありますので、今後ともよろしくお祈りします。昨年度はコロナ禍のために夏休みが3週間に短縮になってしまいましたが、今年は例年通り、42日間の夏休みになります。本日の終業式で、夏休みにやって欲しいこととして次の4点について話しました。

- ・1学期で頑張ったこと、できるようになったこと、できなかったことを家族とともに振り返り、夏休みの過ごし方を一緒に考えてもらいたい。学習面での振り返りも大切であるので、特に中学3年生については目標をもって計画的に進めて欲しい。「夏休みを制する者は受験を制する！」
- ・夏休みにしかできない経験や、なかなか普段ではできないことにチャレンジして欲しい。
- ・将来の夢、将来やってみたいことについて考え、そのことについて家族とも話し合っ欲しい。
- ・家族の一員として、家族のために毎日一つでもいいから何か役に立つことをして欲しい。

夏休みは子どもが家庭に帰る期間です。家族と一緒に過ごす時間がたっぷりあります。この機会にお子さんたちと色々な話をしていただきたいと思います。特に中学生のお子さんにはご自身の経験談なども交えながら、人生の先輩としてアドバイスをしていただけたらと思います。充実した42日間で子どもたちが心身ともに大きく成長できることを願っています。

夏休みこそICTチャレンジを！！

子どもたちは夏休みの間「クロームブック」を持ち帰ります。使い方についてはご家庭で約束を決めていただき、その範囲の中で思いっきり使ってもらいたいと考えています。子どもたちは感性がとても豊かで、大人には想像もつかないひらめきやアイデアを無限にもっています。これからの社会生活で必須アイテムになるパソコンを思う存分使って、いろんなことにチャレンジし可能性を発見し伸ばす機会にして欲しいと思っています。以前お配りしている「タブレット端末利用上のルール」も参考にし、存分にご活用ください。

7月 行事予定(共通) 小学校 中学校

21日(水)
22日(木)
23日(金)
26日(月)
27日(火)
28日(水)
29日(木)

8月
2日(月)
5日(木)
9日(月)
10日(火)

11日(水)
17日(火)
22日(日)
23日(月)